

がん哲学学校 in 神戸

第24回メディカル・カフェ開催のご案内

お茶をのみなながらゆっくりお話をしませんか？

「メディカル・カフェ」って？

メディカル・カフェとは、患者さん、ご家族、医療従事者等、様々な方が集まって、お茶を飲みながらゆったりと会話する場所です。「医療の隙間を埋める」ために、定期的を開催する予定です。たくさんお話をして、笑顔になってみませんか？

開催日 : 平成31年 5月11日(土)

13時~15時30分(受付12時30分)

場所 : 神戸薬科大学地域連携サテライトセンター

〒658-0053 兵庫県神戸市東灘区住吉宮町3丁目9-29

プログラム

12:30 受付開始

13:00 開会の挨拶

13:10



アフラックのCMでおなじみ

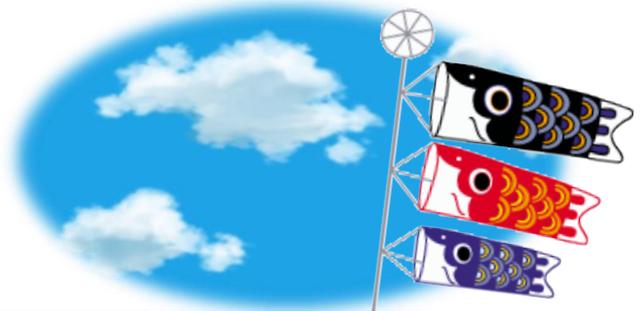
NPO法人 がんノート 代表理事

講演：岸田 徹 氏

「25歳でがんになって」

14:20 メディカル・カフェ

15:30 閉会の挨拶





【岸田 徹 氏】

大阪府高槻市出身。立命館大学卒業。1987年生まれ、31歳。25歳で「全身がん」宣告。がんの種類は「胚細胞腫瘍（胎児性がん）」という希少がん。3ヶ月の抗がん剤治療、2回の手術を受ける。2年半後に再発、再度手術を受け、現在は経過観察中。自身の闘病経験から医療以外の「患者側の情報も大切だ」ということを思い、2014年からがん経験者インタビューウェブ番組「がんノート」をスタート。“一歩踏み込んだセンシティブな患者情報”をユーモア交え発信。ウェブ生放送回数は100回以上を数え、がん経験者同士によるぶっちゃけトークが話題を呼び、新聞、テレビ、雑誌など多くのメディアに取り上げられている。



先着 50 名
締め切り:5月7日(火)

【がん哲学外来とは】

(<http://www.gantetsugaku.org/>)

がん哲学外来とは、順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座の樋野興夫教授が提唱する「医療の隙間を埋める」活動です。

がんであっても尊厳を持って人生を生き切ることのできる社会の実現を目指し、より多くのがん患者が、垣根を越えた様々な方と対話することにより、「病气であっても、病人ではない」安心した人生を送れるよう寄り添う場です。

たくさんお話をして、笑顔になってみませんか？

本学でのメディカル・カフェは、学生も参加しております。ご了承ください。



住吉駅南口側連絡通路から、「KiLaLa 住吉」施設内を 1F に進んでください。

国道 2 号線を歩道橋で越えて、南にまっすぐ進んでください。

お申し込み先

FAX : 078-441-7837

Mail : cpec@kobepharma-u.ac.jp

5月7日(火)までにメールまたは下記に必要事項をご記入の上、お申し込み下さい。
お電話またはメールで確認の連絡をさせていただきます。

メディカル・カフェ 参加申込書

フリガナ		
お名前		
ご住所		
ご連絡先	電話番号	()
	メールアドレス	
ご勤務先		
お知りになったきっかけ		

神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター

〒658-8558 神戸市東灘区本山北町 4-19-1 TEL : 078-441-7836

主催：神戸薬科大学 薬学臨床教育・研究センター、 協賛：クラフト(株)、(株)スヴェンソン

後援：一般社団法人がん哲学外来、神戸新聞社